

箱根組ニユース

第281号 2016年 4月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

三ツ森北峰は絶景だった。前夜降った淡雪を踏みながら約6時間のタフなルートを完歩！

3月26日(土)、京王線新宿駅6時57分発の特急高尾行に乗車。高尾でJR中央本線河口湖行きに乗り換え、大月駅に8時28分着。降り立ったのは川名夫妻、川名(娘)、奥村、戸丸の5名。

大月駅前(駅構内も)最近すっかりリニューアルされて昔の面影はなくなつたがきれいになって使いやすい。トイレもきれいになったし、駅前には新しいお店も増えた。二か月前立ち寄ったワインの飲み放題の居酒屋もそうだ。

9時発の小菅の湯行きバス停前にはウインドウの向こうにおいしそうなパンがたくさん並んでいた。最初はみんなで覗いていたが、なんとなく食べたくなり店内に入る。各々好みのパンを買ってバスに乗り込む。カレーパンを買った私は早速食べ始める。みんなバスの中で試食となった。とってもおいしい、パン生地に甘みがあつて味わい深い。うまいまいと言いながらバスは進む。

猿橋駅経由で有名な猿橋の横も通つてバスは9時40分頃、小寺バス停に着く。少し上流方向に進んで、佐野峠入口とあるところでストレッチをする。

9時53分、歩き出す。葛野川に向かつて下つてゆく。陽ざしはたつぷりで葛野川の清流は輝いている。白く泡立つ流れが美しい。中風呂橋を渡る。川岸は石畳のようで広くなつていて天ぷらパーティーができそうだ。

川を渡ると登り始める、春の日差しが温かさを越して暑いくらいになる。鶯が鳴く練習をしているのかまだうまく鳴けない。斜面に一軒の家が現れる。住んでいるのかどうかはわからない。手作りの看板で佐野峠とある。家の左横を抜けてゆく。

10時、林を抜けると見晴らしのいい地点。右に落ち込む斜面に着いた道は崩れていて慎重に進む。朝から扇山や百倉山が白いと思つていたらどうやら昨夜降った雪のようだ。右側の山の斜面も白くなっている。斜面はヒノキの林になる。急な斜面を九十九折れに進む。

10時40分頃、自然林の雑木林だ。



明るくて気持ちがいい。落ち葉を踏みしめながら登ってゆく。

11時過ぎると足元にまばらだが雪が見えてくる。「アイゼンは必要？」などと冗談を言いながら進む。またヒノキの林になると一層雪は多くなる。標高の高いところに降ったことがわかる。春の雪に心もウキウキする。

11時40分、尾根に出る。ここが西原峠だ。左方向に行けば佐野峠になる。小休止。峠は林道になっていて広い道がついている。しかし登山道はすぐ右の藪の中の細い尾根道だ。この細道を登ってゆく。以前登った川名さんがいなければおそらく林道の方に行ってしまうだろう。まして夏場

奥村さんより3000円頂きました。ありがとうございました。

の木々が茂る時期には登山道を見つけることすら難しいだろう。

現在の収支	
繰越収入	36165 円
支出	
印刷費	1000 円
コピー代	400 円
現在高	37765 円

12時頃は徐々に雪も多くなり足元は真っ白になった。尾根は防火

切手残数 82円
切手 174枚

帯も兼ねているのかかなり

広い林道状になっている。ただあまりにも落ち葉が深く足を取られて歩きにくい。イノシシでも落ち葉を掘り返したのかあちこちでグズグズになっている。落ち葉の少ないところを選んで歩く。

12時31分、少し下って鞍部に出る。林道が十字路のようになっていて正面の道は少し左方向に曲がっている。その道のすぐ右に尾根に向かう登山道が細く伸びているのが雪の中でわずかに見える。よく見ると木に巻き付いている赤いビニールテープに大寺山方面と書いてある。標識の少ない山では、ありがたい表示だ。再び細い登山道を登ってゆく。

12時35分、昼食時間を過ぎたので尾根の雪の少ないところで短い昼食にする。30分後の1時5分発の設定。短時間といってもアルコールは無しだがお湯を沸かして暖かい味噌汁、持参のおかずなど5人でもなかなかのお昼。

4月17日(日)は蜂城山(738m)です。

ラクダコース 歩行2時間半

○蜂城山付近は桃の花が咲いているかも？

○勝沼ぶどう郷駅からタクシーで登山口へ。蜂城山往復し、タクシーで天空の湯へ、ゆっくりしてバスで勝沼駅へ(※少し頑張って登りましょう)

※味噌汁を作ります。天空の湯に入ります。(600円)

○持ち物 昼食、ポットにお湯、飲料水、非常食、雨具、傘、スパッツ、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品(三角巾、包帯、痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ちり紙(ロールペーパー)、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他、山と高原地図登山装備表などを参考に。

●申し込みは4月15日(金)までに

集合 4月17日(日)

京王線新宿駅 7:08発 (3番ホーム)

特急 京王八王子行 (前から3両目)

途中駅発

明大前7:13 調布7:23 府中7:29

分倍河原7:31 聖蹟桜ヶ丘7:34

高幡不動7:38 北野 7:43着 (乗り換え)

7:46発 高尾山口行 高尾7:56着 (乗り換え)

8:07発 JR中央本線(普通) 甲府行

勝沼ぶどう郷 9:10着

交通費 新宿～勝沼ぶどう郷 往復 2660円
別に以下区間のタクシー代がかかります

(勝沼駅～登山口、登山口～天空の湯)

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

http://www.geocities.jp/hakonegumi1991/

予定通り1時5分発。

1時24分、大寺山着。手製の小さな標識がある。地図にある手前の小寺山は確認できなかった。気持ちのいい尾根道だがそれなりのアップダウンがあり手ごたえもある。



2時5分、ちよつとした急な岩場を通過。3点確保が必要だ。

2時12分、右にのこぎり尾根の分岐がある。

少し登って、2時18分、とうとう三ツ森北峰に到着。約3時間のコースをほぼ予定通りで到着した。こんもりとしたそれほど広くない山頂には、割れてはいるがベルサイユを思わせるような豪華なデザインの鏡が山頂に立つモミの木にかかっている。

なんといつても景色が素晴らしい。良く登る百倉山と扇山が目の前に、いつも見る方向とは全く反対側、つまり裏側、北側から見ているのだ。残念ながら富士山は見えなかったが、最近登った高川山が低く小さく見える。九鬼山や道志の山々、丹沢方面、北側の山稜も木々の間から見える。奥深い山に来ているのが実感できる絶景だ。

2時30分、下山開始。下りだけかと思つたら、これまで以上のルートで岩を三点確保でよじ登る。

3時2分、尾名手峠、雑木林のいい尾根だ、小休止。まっすぐ行けば麻生山だが右の駒宮方面に下る。ここからが右に深く斜面が落ちているルート。崩れてもいるので慎重に降りる。ザイルが付いているところは一人ずつゆつくり通過す

る。

4時20分、あちこちに小さなケルンの積んであるところを通過。

4時50分、麻生山からのルートが左から合わる。

4時59分、梅が咲く素敵な民家の横に到着。5時11分、集落に出る。駒宮橋を渡り少し登ると5時20分、富岡バス停に到着。時刻表を見ると最終の5時33分発がある。「やったー、すごいタイミングだね」と喜んで、もう一度よく見ると土日は運休と分かる、気を取り直してタクシーを呼ぶとほぼバスの発車時刻に到着。

6時前に大月駅に到着。以前入ったことのある二階のお店に入る。靴を脱ぎ、6時間ほどのアップダウンで疲れた足を癒しながら生ビールで乾杯。なかなかハードなコースをクリアーした満足感がいっぱいだった。

2016年これからの予定

5月15日(日) レギュラー

6月19日(日) らくだ(天ぷら山行)

7月 未定? 23日(土) 又は30(土)

8月20日、21日(土日一泊)

伊東の海ツアー

9月16日(金) ～19日(月)

北アルプス・白馬岳3泊4日

